KHOS-NP□ル

300235

KHOS-NP□ ′ HOS細胞株をKirstenマウス肉腫ウイルス（Ki-MSV）で形質転換して得られた細胞株である。この形質転換過程により、いくつかの特徴的な性質を持つ高度な腫瘍形成能を有する細胞株が得られ、特定の研究用途において有用である。 特に、KHOS-NP細胞□様々なエクトロピックおよびゼノトロピックマウス白血病ウイルスを用いた MSV擬似型ウイルスの産生に有用であり、ウイルス複製、発癌、および関連経路に焦点を当てた研究において注目されています。

KHOS-NP細胞□付着性増殖特性を示し、白人女性成人の骨組織由来である。 これらの細胞□Ki-MSVゲノムを保有するが、感染性ウイルス粒子やウイルス抗原を産生しないため、感染性ウイルスの産生が懸念される特定の in vitro研究環境において安全である。それにもかかわらず、KHOS-NP細胞□高い飽和密度を維持し、軟寒天培地において高い播種効率を示し、形質転換および腫瘍形成性細胞株に典型的な、強力な増殖性および接着非依存性成長特性を実証している。

生体内で□ ′ KHOS-NP細胞□極めて強い腫瘍形成能を示し、ヌードマウスに 10^7個の細胞を皮下注射した場合、接種後 21日以内に100%の腫瘍形成頻度が観察される。これらの特性により、KHOS-NP細胞株□肉腫の発症、腫瘍生物学、および発癌の分子メカニズムを研究する貴重なモデルとなっている。 ただし、KHOS-NP細胞□治療用途や生体内応用に□適さず、研究環境における管理された実験条件下での使用に限定すべきであることに留意することが極めて重要である。

概要

□明

KHOS-NP□ ′ HOS細胞株をKirstenマウス肉腫ウイルス（Ki-MSV）で形質転換して得られた細胞株である。この形質転換過程により、いくつかの特徴的な性質を持つ高度な腫瘍形成能を有する細胞株が得られ、特定の研究用途において有用である。 特に、KHOS-NP細胞□様々なエクトロピックおよびゼノトロピックマウス白血病ウイルスを用いた MSV擬似型ウイルスの産生に有用であり、ウイルス複製、発癌、および関連経路に焦点を当てた研究において注目されています。

KHOS-NP細胞□付着性増殖特性を示し、白人女性成人の骨組織由来である。 これらの細胞□Ki-MSVゲノムを保有するが、感染性ウイルス粒子やウイルス抗原を産生しないため、感染性ウイルスの産生が懸念される特定の in vitro研究環境において安全である。それにもかかわらず、KHOS-NP細胞□高い飽和密度を維持し、軟寒天培地において高い播種効率を示し、形質転換および腫瘍形成性細胞株に典型的な、強力な増殖性および接着非依存性成長特性を実証している。

生体内で□ ′ KHOS-NP細胞□極めて強い腫瘍形成能を示し、ヌードマウスに 10^7個の細胞を皮下注射した場合、接種後 21日以内に100%の腫瘍形成頻度が観察される。これらの特性により、KHOS-NP細胞株□肉腫の発症、腫瘍生物学、および発癌の分子メカニズムを研究する貴重なモデルとなっている。 ただし、KHOS-NP細胞□治療用途や生体内応用に□適さず、研究環境における管理された実験条件下での使用に限定すべきであることに留意することが極めて重要である。

ティッシュ	骨
病気	骨肉腫

同義語

- KHOS/NP
- KHOS NP
- KHOSNP
- R-970-5
- KHOS

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	線維芽細胞様
腫瘍形成性	□い、ヌードマウスで。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

KHOS-NP (Cytion カタログ番号 300235)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_2546

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w：2 mM L-グルタミン、w：2.2 g/L NaHCO3、w：EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	2×10^4 細胞/cm^2
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	解凍後、細胞を5×10^4細胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	13年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB